

おがわ

議会だより
チェック・アンド・バランス



新ごみ焼却施設は吉見町に

町民の声を町政に 10人が一般質問 P.8

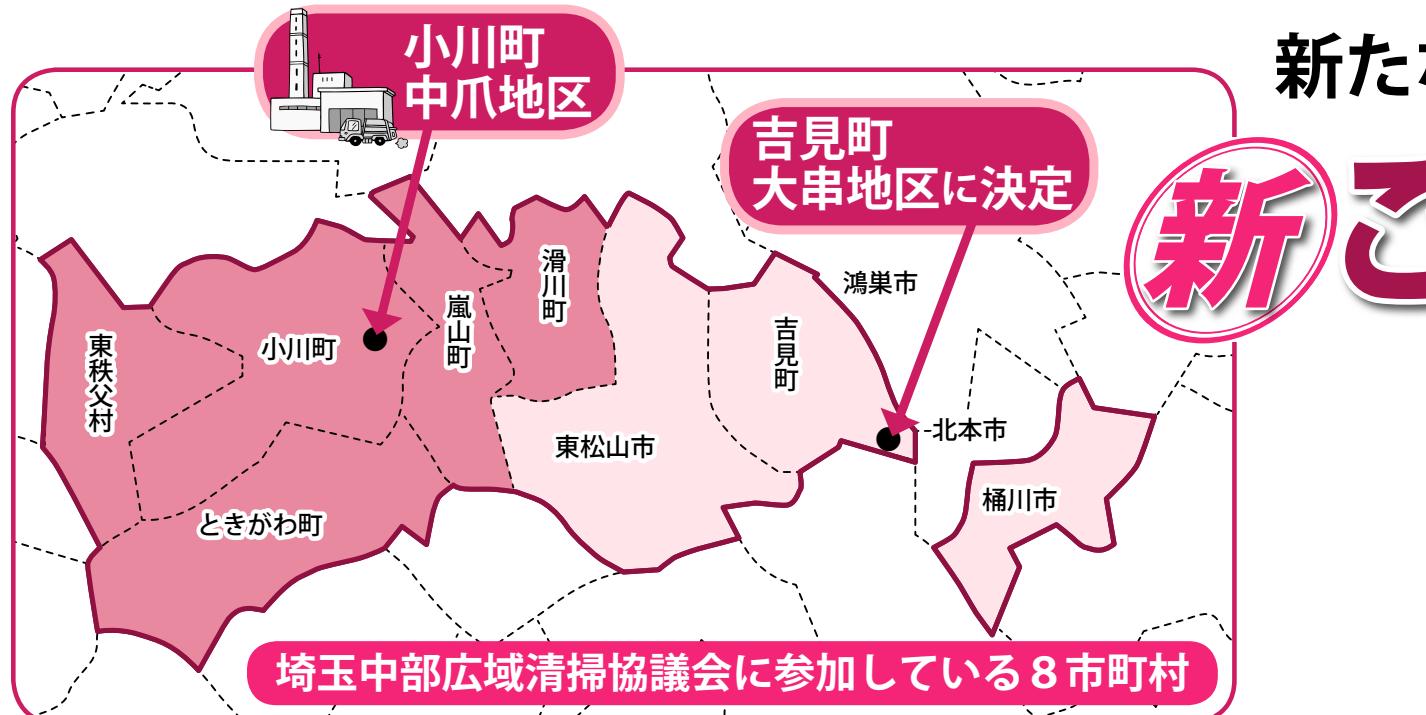
No. 74
2015.2.1

新たな 枠組みで動き出す

新ごみ焼却施設は吉見町に

経過

平成25年3月に設立した埼玉中部広域清掃協議会で建設候補地の選考やごみ処理基本構想、基本計画案が策定されました。協議が進む中で、建設地が吉見町の大串地区に決定。既存の小川地区衛生組合では、し尿処理と不燃物及び資源物の処理が継続されることになります。

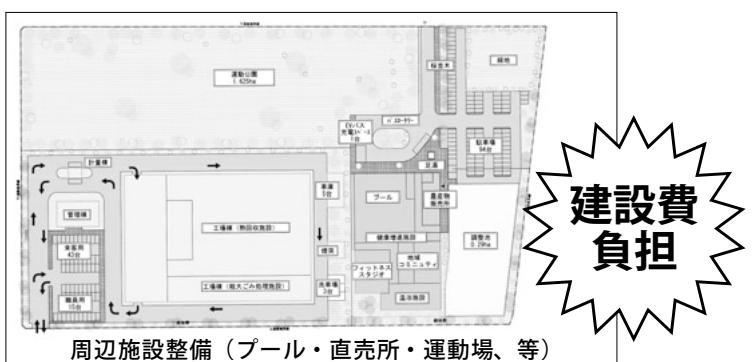


埼玉中部広域清掃協議会に参加している8市町村



費用が
倍増

収集運搬費用が約2.3倍



建設費
負担

H26年3月

吉見町大字大串字
中山在地区（現埼玉中
部環境保全組合隣接地）
に建設地が決定。ごみ
処理基本構想、基本
計画案が策定



住民の
反対

H26年12月

埼玉中部資源循環
組合設立について
の審議

答 今後7年間での運転費用は、点検・修繕整備に約30億円を要するとの試算です。そのうち、構成自治体による当町の負担分は、約12億円となります。
問 小川地区衛生組合で中心的な役割を担っている当町がリーダーシップを發揮し、構成自治体と再度、協議することは、議論は、既に済んでいます。
現行の規模での運営も考えにあります。たが、新施設の適地を確保できなかつたことや、その建設費の負担増を総合的に判断した上で、今回の枠組み・広域化は推進すべきと考えています。

現在の焼却炉の状況は

小川町中爪地区内にある焼却炉は、稼働から38年が経過しています。公害防止対策工事は行なわれていますが、毎年多額の維持補修費を要しながら今日も運転を続けています。平成24年には空気予熱器等の更新工事に2億6880万円を計上しています。現在の施設は、地域住民との約束で改築や大規模な改修はできないことになっています。

H25年2月

小川地区衛生組合
議会で、構成自治体（滑川町・嵐山町・ときがわ町・東秩父村・小川町）の中には建設候補地はないと各町村長が答弁

H25年3月

8市町村で埼玉
中部広域清掃協
議会設立



老朽化

問 さらなる広域化と、新たな枠組みとなる一部事務組合へ参画するメリット・デメリットは。
答 メリットは、施設の建設費等、初期費用の負担が軽減されます。
デメリットは、回収運搬に係る費用が現状の約2・3倍に増える見込みです。
問 現在の埼玉中部環境保全組合の周辺には再建築しないことで和解していたが、ご理解いただけるよう丁寧に説明していくべきです。
答 現在、焼却施設へ個人が直接持ち込んでいるごみの受け入れはどうなるのか。不法投棄への心配もあるが。
答 現状どおり、小川地区衛生組合の施設で受け入れできるよう配慮します。
問 周辺施設整備の負担割合がしっかりと示されなければ不安だが。
答 今後の協議となります。平等割ではなく、利用割合に応じた負担となるよう要望していきます。
問 新施設の稼働は平成33年度を予定しているが、それまでに現行の焼却施設の維持管理と延命に係る費用は。
答 今後7年間での運転費用は、点検・修繕整備に約30億円を要するとの試算です。そのうち、構成自治体による当町の負担分は、約12億円となります。
問 小川地区衛生組合でリーダーシップを発揮し、構成自治体と再度、協議することは、議論は、既に済んでいます。
現行の規模での運営も考えにあります。たが、新施設の適地を確保できなかつたことや、その建設費の負担増を総合的に判断した上で、今回の枠組み・広域化は推進すべきと考えています。

質疑が集中 22件

平成26年度

一般会計補正予算

《主な質疑》

判断して対応を考えていきます。

答 施設のあり方を改めて検討し、活用していきます。

はじめの一歩

平成26年12月定例会
12月3日~12日

今定例会は、埼玉中部資源循環組合の設立や指定管理者の指定、平成26年度一般会計及び特別会計補正予算など23議案を審議し、すべて可決しました。議員提出議案として小川町地酒等による乾杯条例が提案され、全会一致で可決されました。請願審査1件は否決しました。

なお、一般質問には10人の議員が登壇し、当面する諸問題について町の見解や対応をただし、政策提言を行ないました。

算出根拠は

問 西中学校改築事業の遅延による、損害賠償金の算出根拠は。

答 約款に基づいて算出しました。43日間の遅延分239万円です。

取りやめに

問 パトリアおがわのプール可動床の改修が、入札不調により取りやめとなつたが、今後は。

答 しばらくは現状のままご利用いただき、経過を見守りました。また、お客様のニーズや施設の維持管理等を総合的に見て2度とも不調に終わりました。

答 利用者増を見込んで改修に臨みましたが、見直しを含めて2度とも不調に終わりました。

答 利用者増を見込んで改修に臨みましたが、見直しを含めて2度とも不調に終わりました。

今後の活用は

問 和紙体験学習センターの改修が白紙に。今後の活用は。

答 施設のあり方を改めて検討し、活用していきます。

いつ完成か

問 町道228号線道路改良事業費の大額減の理由は。また進捗は。

答 国からの補助決定額が、当初見込んだ額に満たなかつたための減額です。再三の追加要望を行ないました。たが、至りませんでした。平成27年度中には完成予定です。

はじめる一歩

問 総合運動場の整備費の内容は。サブグラウンド化に値する整備か。

答 野球場予定地内において、ウォーミングアップ程度での使用を見込んだ整地と、簡易なフェンスの設置を考えています。野球場としての整備ではありません。

また雨漏りが

問 東中管理棟の屋根部分の工事請負費。再三の雨漏りのことだが、その内容は。

答 1階保健室への雨漏りに対応した工事です。

問 耐用年数を総合的に判断したとき、建屋本体の限界も近い。対応は。

答 今後は、町が進めるアセットマネジメントの計画の中で検討します。

条例の制定・改正

《主な質疑》

開発許可等の権限が県から町へ

は。

この条例制定のメリット

開発行為の許認可手続にかかる時間の短縮と、町に手数料が入ります。また、開発行為に関する規制を定めることもできます。

新たに都市政策課を設置

課の役割や規模は。

建設課所管の都市計画ダ

ループからの移行となり、開発部門を含めて担当します。

当町の交通政策も担うことになるが、その意義とは。

マスター・プランにある交通政策は、都市計画と一緒にと

なつて変わっていくので、このような位置づけとしました。

答 役場全体のバランスを見て、配置を考えていきます。

和紙体験学習センターが指定管理者から直営に

直営に戻した理由は。

町有建築物で最古のもので、老朽化がその理由です。

問 直営後、どのように展開を考えているのか。

答 1日も早く和紙の資料の展示や後継者育成の場として、活用をしていきたいと思います。さらに、不特定多数の方が訪れる施設として、耐震を含め消防法に対応する工事を行なつていきたいと考えています。また、和紙の指導については、和紙工業組合の方と意見交換を実施し、連携をとつて、活用を模索・検討していくたいと思います。

問 担当する職員体制はどう考えているのか。

答 担当する職員体制はどの



和紙体験学習センターには戦後導入された抄紙機（紙をつくる機械）が納められています。



和紙体験学習センター（外観）



四津山から見た町道228号線

一般質問

小川町の特性を
みんなで見つめ直したい

町政

「まち・ひと・しごと創成会議」小川町のこれからは 全庁的に取り組んでいきます

山口勝士 議員

質問 国の「まち・ひと・しごと創生本部」の施策の今後と、地方版総合戦略策定に向けて、当町の準備・心構えは。

答弁 政策推進課長 本年（平成26年）9月、国の「まち・ひと・しごと創生本部」が基本方針を発表しました。当町も、国策定する「長期ビジョン」（50年後に人口1億人程度の維持目標）と「総合戦略」を受け、平成27年度中に、「地方人ロビジョン」と「地方版総合戦略」を策定予定です。



まち・ひと・しごと創生本部が設置



小川町駅

その他の質問
◎企業誘致の対応について

皆様を含めての議論が進められると考えています。

質問 細川紙のユネスコ登録から町の活性化に

◎子ども子育て新制度について

設備では、可能な限り都市ガスを利用したい。しかし、町全体のエネルギー施策の方向性は示されておりません。今後、関連業界の

答弁 総務課長 公共施設の空調

る。片や、今後エネルギーの供給はするものの、納税はしない新たな立場ができる。地球温暖化実行計画の狙いとして「経済活動を収縮することは町の活力が失われる」とあるが、その整合性は。

質問 少子社会での学校のあり方

一部の学校で、児童生徒数が多く、その他は少ない。全体的な均衡化を図るために、緩やかな学区の変更是考えていないのか。

答弁 学校教育課長 慎重に検討したいと思いますが、ご指摘のとおり児童生徒数の減少により、さまざまな教育課題が生まれています。柔軟に見直しを図っていくことも必要と考えます。



町政をただす

一般質問とは、議員が役場の仕事について、町長の考え方や意見を求め、事柄をただしたり、議員や町民の意見などを述べることをいいます。議員1人の持ち時間は75分に定めており、議会 darüberでは、このやりとりを要約して報告しています。

今議会では、10人の議員が一般質問を行ないました。

議員提出議案第2号

小川町地酒等による乾杯の推進
に関する条例制定について

可決

小川町地酒等による乾杯条例

「和食」が平成25年に、そして「和紙：日本の手漉き和紙技術」が平成26年にユネスコ無形文化遺産に登録されました。こうして世界的に「和の文化」へ注目が集まっている中、当町でも、和の文化や伝統は、歴史上でも非常に重要な役割を果たしてきました。それは、鎌倉時代より交通の要衝として栄えた小川町にヒト・モノ・カネが集まり始めてからのことです、細川紙をはじめとする小川和紙・絹・建具などの商いのために、毎晩酒宴が開かれ盛大に行なわれたとのことです。さらには、鉄道誘致にも一役買ったとも言われています。

乾杯は、祝いの時、喜びの場には欠かせない日本の文化です。この条例では、地元小川町で生産される日本酒・焼酎・ビール・ワインその他飲料による乾杯を推進することにより、地酒等に焦点を当て積極的な普及を図るとともに、町内の酒造業その他関連産業の発展、地産地消の促進及び郷土を愛する社会的機運の醸成のために、全会派・全議員一致のもと提案し、全会一致で12月12日に可決制定しました。

チャンスを生かし、
夢を現実に！

まちづくり 小川町駅北側の開発は 最後のチャンスだと考えています

質問 都市ガス導入から見える町の方向性

プロパンガスを取り扱い、生計を立て、町へ納稅をしている事業者がいる

答弁 建設課長 小川高校に道路用地と北口広場用地の提供を交渉しています。道路計画は、車道幅員6・5メートル、歩道幅員2メートルです。また、北口広場については、小川高校の体育館脇に考えています。



戸口 勝 議員

円滑に協議が進められるよう対応していきます

す。



井口亮一議員

質問 町長は駅北口開設について選挙で公約した上、新聞紙上で「若者の定住促進などの効果を期待して進めます」と明らかにされた。駅北口の開設、駅周辺整備に向けた思いを可能な限り具体的に聞かせてほしい。

答弁 町長 駅北口開設及び周辺整備は、町の活性化・住みやすさ・暮らしやすくに大きく寄与するものと考えます。そして、この好機を逃すと二度とチャンスはないと考え、事業化に向けて一歩踏み出す決断をしました。

今後は、事業着工に向けて円滑に協議が進められるよう誠意を持ったところです。

町民みんなのひろば

わたしの ひとこと



議会はビジョンを描け



角山中 せきぐち 関口 廣

日本創成会議の報告によると、小川町は2040年に消滅可能性のある自治体の1つに数えられている。これを踏まえ第5次総合振興計画等、見直しを迫られる。

改めて、短期・中期・長期にわたるビジョンを描き、自然環境と人口減少に対応したコンパクトシティの議論を期待する。細川紙ユネスコ無形文化遺産登録決定は、観光産業発展のチャンス到来。都心から距離の利点を生かし、日本の原風景が残る豊かな自然と歴史・文化を結びつけ、農業・林業もリンクさせ、体験学習もできる観光産業を整備し、情報発信すべきだ。また、小川町駅北口の開設と周辺整備は喫緊の重要課題であり、人・車・物の流れが大きく変わり、公共交通の再構築も必要となろう。これら重要課題に対してはプロジェクトチームを立ち上げ、スピード感を持って推し進め、議会・執行部のみならず広く一般市民から公募することで、違った視点が生かされる。

小川町のすばらしさをもっと



大塚二 よしお ゆき貴男

若いころは小川町のことを知らず、この町が有機農業が盛んなことも知りませんでした。親の家業を継ぐことになり、いろいろな人の交流により小川町のすばらしさに気づきました。有機ぶどう園を小川町につくり、それをワインにする方や、小川町の農家の有機米でつくった純米吟醸酒を販売する酒蔵など、とてつもないパワーを持った人がこの町にいるんだなあと感じています。

これからは食糧の自給がとても大事だと思います。もっとも小川町のよいところをアピールしてほしい。七タイメージキャラクターの星夢ちゃんも、全町民に認知されるようにいろいろなところに使ってほしいです。そして、東秩父村の和紙の里のような、車のイベントの開催が盛んに行なえる小京都ならではのすてきな場所があるとよいなと思います。小京都は美しい車がよく似合うと思います。



工芸会館内和紙工房

行政も子育ても同じ!! 先の希望が見えないとつぶれちゃう

当町の現状は

子どもの貧困



高橋さゆり 議員

質問 厚生労働省が発表した子どもの貧困率は2012年時点で16・3%と過去最悪を更新した。当町の現状・実態把握は経済的な理由で、その希望を大きく変更せざるを得なかつた生徒は「ここ数年いない」と報告を受けています。しかし、経

答弁 学校教育課長

質問 厚生労働省が発表した子どもの貧困率は2012年時点で16・3%と過去最悪を更新した。当町の現状・実態把握は経済的な理由で、その希望を大きく変更せざるを得なかつた生徒は「ここ数年いない」と報告を受けています。しかし、経

質問 取り組みは。答弁 義務教育段階では、①就学援助の適切な運用と、きめ細かな広報 ②教職員の的支援を要する家庭は少しづつ増えています。また、福祉関連機関との連携が必要なケースも増えてきています。

質問 当町の今後の取り組みは。答弁 義務教育段階では、①就学援助の適切な運用と、きめ細かな広報 ②教職員の的支援を要する家庭は少しづつ増えています。また、福祉関連機関との連携が必要なケースも増えてきています。

「子どもの貧困」に対する理解の増進 ③スクリルソーシャルワーカーとスクールカウンセラーの配置 ④奨学生金の貸与 ⑤「子ども」の貧困」対策に関する学力情報収集・蓄積・提供 ⑥学校教育による学力保障の実施。これらを今後も継続・実施していきたいと思います。

◎マイナンバー制度導入について

質問 進捗状況は。答弁 政策推進課長

計画案を作成し、その後にパブリックコメントを実施し、最終的に平成27年2月を目標に小川町公共施設等総合管理計画として策定します。



老朽化が進む中央公民館

アセットマネジメント

質問 進捗状況は。答弁 政策推進課長

行動を起こさなければ、何も始まらないよ!

町民の声を町政に

質問 技術者正会員は国・県・町の補助やブランド力もあるが、若手後継者には何もない。しっかりと支援が必要。和紙

質問 生業として成り立つよう支援していく必要があるが、新たな方策は。答弁 生涯学習課長

表に記載されたことは、技術を確実に伝承していくしかなればなりません。文化財としての価値・希少性・ブランド性で、イベントなどで販路の拡大支援を考えています。

まちづくり

質問 細川紙技術の後継者育成支援は

細川紙技術の後継者育成支援は、センター内の若手作品展示場。空き家をシェアした工房・店舗の展開・古民家・酒蔵等を組み合わせた観光ルートをつくることにより後継者の育成・支援が実現し、町の活性化に寄与すると考えるが。

質問 生業として成り立つよう支援していく必要があるが、新たな方策は。答弁 生涯学習課長

表に記載されたことは、技術を確実に伝承していくしかなればなりません。文化財としての価値・希少性・ブランド性で、イベントなどで販路の拡大支援を考えています。

質問 細川紙技術の後継者育成支援は、センター内の若手作品展示場。空き家をシェアした工房・店舗の展開・古民家・酒蔵等を組み合わせた観光ルートをつくることにより後継者の育成・支援が実現し、町の活性化に寄与すると考えるが。



大戸久一 議員

我が町再発見 「成人に想うこと」



みずから漉いた小川和紙の卒業証書を手に、中学校を卒業してから早いもので5年がたとうとしています。母校上野台中は閉校となりましたが、ともに学び、ともに遊び、同じ時を過ごした仲間との友情はかけがえのない宝です。

そして、今こうして、成人として新たな一步を踏み出すことができるのも、両親をはじめ多くの人々の支えがあったからこそです。

感謝の気持ちを忘れずに、これから的人生、自分の道を精いっぱい歩んでいきたいと思います。

成人式実行委員会 委員 井田有香



議員 記者クラブ

シリーズ 安全・安心の主役たち⑬

小川町青少年相談員

子どもたちの健やかな成長を願って

青少年相談員とは、埼玉県知事からの委嘱を受け、地域の子どもたちのよき友、よき理解者となって、子どもたちの健やかな成長をサポートするため、さまざまな活動をするボランティア（18歳～36歳までの男女）で、現在16人が活動中です。12月20日、八和田公民館で子どもたちとクリスマス会行事の準備をする相談員の皆さんから話を伺いました。



Q どんなことをやっているのですか。

A いちご狩り・サマーキャンプ・クリスマス会が3大行事。ほかに、はつらつ朝市で遊びのイベントや、今年は田植えや収穫なども子どもたちと一緒に行ないました。

Q 相談員になってよかったです。

A 最初は子どもたちと一緒に楽しむというところから。経験を積むにつれて子どもたち全体に目配りができるようになりました。初めはぎくしゃくしていても、1泊2日のキャンプが終わるころには相談員も子どもたち同士もすっかり打ち解けて、楽しかった、また来たいと笑顔で言われると苦労も吹き飛びます。町で声をかけられるのもうれしいですね。

Q 皆さんにアピールしたいことは。

A若い人が地域に少なくなってきたようで、後継者づくりが少し心配です。一緒に楽しんでボランティアやってみようよ。自分自身も成長できますよ。

担当：柳田多恵子

編集後記

私は、編集委員として「議会の今を伝えます」と、約束しました。

今号は、住民の皆様とともに細川紙のユネスコ無形文化遺産登録を喜び、これからのこと語りたかった。しかし話し合った結果、見開きは『新ごみ処理施設』について

となりました。どちらも町民にとって大切な事柄であると思います。

私たち議員は、議場において賛否を求められます。どちらを投じた議員も町民のことを考え、悩んだ末に結論を出したことを見ていただけたら幸いです。

編集委員 島崎隆夫

おがわ No.74

小川町議会だより 74号
平成27年2月1日発行

発行：埼玉県小川町議会 編集：議会広報発行特別委員会
〒355-0392 埼玉県比企郡小川町大字大塚55番地
TEL 0493-72-1221 FAX 0493-74-6877
<http://www.town.ogawa.saitama.jp/kurashi/gikaiinfo>

議会広報発行特別委員会

議長 小林 一雄
委員長 柳田多恵子
副委員長 大戸 久一
委員 戸口 勝
委員 高橋さゆり
委員 島崎 隆夫
委員 高瀬 勉

議会を傍聴してみませんか

議会では町民の皆様の生活に直結した重要な問題が審議されています。ぜひ傍聴にお越しください。

次回定例会は

3月3日(火)からです

この広報は古紙を配合した紙を使用しています。